

## キャリア教育についての高校生アンケート調査

奈良県立教育研究所

奈良県立教育研究所では、このアンケート調査を通して、高校生の皆さんから御意見をお聞きし、奈良県のキャリア教育の在り方や進め方の参考にしたいと考えています。

回答いただいた情報は、統計資料としてのみ活用します。個人を特定するものではありません。  
高校生の皆さんのアンケート調査への御協力を、よろしくお願いします。

※このアンケート調査の回答は、調査用紙内に挟み込んである別紙回答用紙に御記入ください。なお、選択肢式の質問については、数字のみ御記入ください。

**問1** あなたが在籍している高等学校の学校名・課程・学科名(コース)を教えてください。

【学校名】 奈良県立  高等学校

【課程】 1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制 (1つだけ回答)

【学科・コース】

類型選択(例えば、文系や理系等)は記入不要です。

**問2** あなたの性別を教えてください。(1つだけ回答)

1. 男性 2. 女性

**問3** あなたは、学校の部活動に参加していますか。(1つだけ回答)

1. 運動部にだけ参加している 2. 文化部にだけ参加している  
3. 運動部と文化部の両方に参加している 4. 運動部と文化部のどちらにも参加していない

**問4** 将来、社会人として生きていく上で、高等学校在学中に、経験や学習をしたいと思う内容(又は、経験や学習をしてよかったと思う内容)を2つ教えてください。

1. 職業調べ(様々な職業やその仕事内容を知ること) 2. 職場見学やインターンシップ(就業体験)  
3. 上級学校(大学・専門学校等)調べ 4. 上級学校の見学(オープンキャンパス)  
5. 社会人や職業人による講話 6. 先輩や卒業生による体験発表  
7. 適性検査 8. 資格取得に関する学習  
9. ビジネスマナーや言葉づかいの講座 10. 面接練習  
11. 働くときに必要な法律の学習 12. 税金や年金の学習(将来の生活設計を含む)

引き続き **問5** を教えてください。

**問5** あなたは、次の①～⑳について、どのように思いますか。以下の4つの中から、該当する番号を1つ選んでください。

1: そう思う    2: どちらかといえば、そう思う    3: どちらかといえば、そう思わない    4: そう思わない

①	授業等で、生徒の間で話し合う活動をよく行っている	1	2	3	4
②	授業等で、自分の考えを発表する機会が与えられている	1	2	3	4
③	授業等で、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会がある	1	2	3	4
④	授業等で学んだことを、ほかの学習や普通の生活に生かしている	1	2	3	4

⑤	本やインターネットなどを使って必要な情報を見つけ出すことができる	1	2	3	4
⑥	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる	1	2	3	4
⑦	友達の前で自分の考えや意見を発表することができる	1	2	3	4
⑧	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦することができる	1	2	3	4

⑨	自分で計画を立てて勉強している	1	2	3	4
⑩	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	1	2	3	4
⑪	自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
⑫	人の役に立つ人間になりたいと思う	1	2	3	4

⑬	将来の夢や目標をもっている	1	2	3	4
⑭	外国の人と友達になったり、外国のことを知ったりしたい	1	2	3	4
⑮	将来、海外に留学したり、国際的な仕事に就いたりしたい	1	2	3	4
⑯	専門性を身に付け、自分の能力を発揮できる仕事に就きたい	1	2	3	4

⑰	どのような仕事が自分に向いているか分かっている	1	2	3	4
⑱	社会人になっても、学び続ける必要がある	1	2	3	4
⑲	自分に合った仕事なら非正規社員でもよい	1	2	3	4
⑳	適性がなければ、仕事をやめてもよい	1	2	3	4



**問11** あなたが進学しようと思う気持ちとして一番近いものを答えてください。(1つだけ回答)

- |                             |                  |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 専門的に研究したいこと、学びたいことがあるから  | 2. 自分のしたいことを探すため |
| 3. 将来就きたい仕事に役立てるため(資格取得を含む) | 4. 部活動をしたいから     |
| 5. 家族や先生が勧めるから              | 6. 学歴が必要だと思うから   |
| 7. 今は就職する気持ちがないから           | 8. その他( )        |
- 具体的な進学理由を記入してください。

引き続き **問12** を答えてください。

**問12** あなたは将来、奈良県内で働きたいですか。(1つだけ回答)

1. はい      2. いいえ      3. わからない

**問13** あなたは将来、一つの会社等で長く働きたいですか。(1つだけ回答)

1. はい      2. いいえ      3. わからない

**問14** あなたは将来、会社を作ったり、経営者になりたいですか。(1つだけ回答)

1. はい      2. いいえ      3. わからない

**問15** あなたは、保護者の方と自分の将来の仕事について話すことがありますか。(1つだけ回答)

1. よく話す      2. 時々話す      3. あまり話さない      4. 全く話さない

**問16** 学校の先生以外に、進路のことを相談できるカウンセラー(キャリアカウンセラー)が校内にいれば、あなたは相談したいですか。(1つだけ回答)

1. はい      2. いいえ      3. わからない

**問17** 人工知能(AI)やロボット等によって人間の仕事が代替される時代が訪れると考えられていますが、そのような時代に求められる能力として、あなたが重要だと思うものを2つ答えてください。

- |               |                     |                       |
|---------------|---------------------|-----------------------|
| 1. コミュニケーション力 | 2. 情報収集力            | 3. 課題解決力              |
| 4. 論理的思考力     | 5. 創造力              | 6. 忍耐力                |
| 7. 語学力        | 8. リーダーシップ          | 9. 主体性(物事に進んで取り組む力)   |
| 10. チャレンジ精神   | 11. 規律性(ルールや約束を守る力) | 12. ITスキル(パソコン等を扱う技能) |

質問は以上です。御協力いただきありがとうございました。

## 教育の理論研究（実学教育） 情報収集

日時 平成30年11月15日（木）

14:30～16:30

## ヒアリング対象

近畿大学経済学部 教授 安孫子 勇一 氏

## ヒアリング内容

## 1 実学とは

- ・学校におけるカリキュラムは硬直化している。
- ・なぜ、何のために「科目」を学ぶのか。  
産学連携での学びを実現し、学生に気付かせる。  
その結果、学問を深めることになる。  
→自らの学び（学問）と社会との関連が理解できる。  
→主体的に問題意識を発見できる。
- ・実学教育に、インターンシップが効果的な取組である。  
なお、事前学習、事後学習が必須である。  
特に、事後学習では、ふりかえりや他者との共有化ができる。

## ※実学とは、

- 学ぶことの意味を再発見
- 広い世界を見せる教育活動の一環

## 2 インターンシップの経緯

- ① 経済産業省 もともと優秀者層をベンチャー起業へ  
現在は、「地域振興」の一環として
  - ② 文部科学省 実学、地域の高校生の雇用
  - ③ 厚生労働省 雇用のミスマッチを防ぐ（雇用対策として）
- 3省合意・・・だが、同床異夢

## ※これからのインターンシップの視点

- ・地域振興
- ・地元の金融機関、例えば信用金庫等に協力を求める。

## 3 有給インターンシップへの意見

- ・諸外国では、有給インターンシップは当たり前
- ・近畿大学でも、無給・有給に関わらず5日間で単位を認めている。  
なお、事前・事後の指導は必須としている。

#### 4 奈良県の産業における課題や視点

##### ○現状と課題

- ・ 上場企業が少ない。(4社)
- ・ 進学率が高い  
→ 県外に流出する要因の一つ
- ・ 学生が奈良の企業を知らない。
- ・ 製造業が少ない。  
→ 二次産業の比率が低い。
- ・ 県外企業の工場が多い。
- ・ 女性の就労率が低い。  
→ 女性の活用が課題
- ・ 男性の就業率も低い。(退職世代が多い)
- ・ 25～30才で学校在籍者が多い。  
→ 優秀な人が多いが、彼らを生かしていない。  
→ 個人が独立して起業することを育てる業界があってもよいのでは
- ・ 教育産業に携わる人が多い。  
→ 塾(進学熱が高いから?)

##### ○提案

- ・ フリーランサーを養成する学校設立
- ・ ブランド化したものに付加価値を付けて販売  
例 アスカルビーのいちご  
販売本社機能を設立

#### 5 関連する論文

日本インターンシップ学会については、インターンシップ研究年報を閲覧できる。

#### 6 キャリア教育に関するアンケートについて

○分析について改めて相談する機会を設ける。

## キャリアサポートセンター設置要綱

奈良県立教育研究所

## (趣旨)

第1条 この要綱は、奈良県内の公立学校（以下「学校」という。）におけるキャリア教育の充実を図るため、学校を支援することを目的として設置するキャリアサポートセンターについて、必要な事項を定めるものとする。

## (設置)

第2条 キャリアサポートセンターは、奈良県立教育研究所（以下「教育研究所」という。）内に設置する。

## (所掌事務)

第3条 キャリアサポートセンターは、次に掲げる事務を行う。

- (1) 学校におけるキャリア教育の支援に関すること。
- (2) キャリア教育の推進に資する情報等の提供に関すること。
- (3) 高等学校及び特別支援学校高等部の就職指導についての支援に関すること。
- (4) 職場見学、職場体験、インターンシップの受け入れ先の開拓に関すること。
- (5) 若年者就労相談窓口「ひまわり」における就労相談、就労支援に関すること。
- (6) 無料職業紹介事業の運営に関すること。

## (体制)

第4条 キャリアサポートセンターは、次の各号により運営する。

- (1) キャリアサポートセンター長を置き、教育研究所教育経営部長をもって充てる。
- (2) キャリアサポートセンター長は、キャリアサポートセンターの事務を統括する。
- (3) キャリアサポートセンターの庶務は、教育研究所教育経営部教育企画係において処理する。
- (4) キャリアサポートセンターにキャリア教育支援員を置き、別に定める事務を処理する。
- (5) キャリアサポートセンターにキャリアプランナーを置き、別に定める事務を処理する。
- (6) キャリアサポートセンターにインターンシップコーディネーターを置き、別に定める事務を処理する。

## (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、キャリアサポートセンターに関する必要な事項は、キャリアサポートセンター長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。